

川棚警察署協議会第1回会議議事概要

日 時	令和2年1月28日(火) 13時30分～15時10分
場 所	川棚警察署4階会議室
出席者	<p>1 協議会 細野会長 小山田委員 塚田委員 中里委員 松尾委員</p> <p>2 警察署 山下署長 渡邊副署長 中川地域課長 田渕刑事生活安全課長 吉田交通課長 中川警備課長 生活安全係長</p> <p>3 書記 警務係長</p>
会議の状況	<p>1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 署長から、前回協議会の提出意見に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 年末における犯罪抑止活動の推進及び交通取締りの推進について</p> <p>ア 「年末における犯罪抑止活動の推進」については、関係機関・団体と連携した金融機関模擬強盗訓練や年金支給日におけるキャンペーン、特殊詐欺被害防止講話を実施した。</p> <p>イ 年末に予想される金融機関・コンビニ等の強盗事件などの未然防止のために制服警察官による赤色灯を点灯した見せる警戒を昼夜において実施した。</p> <p>ウ 管内で発生している交通事故の原因の多くが「脇見ぼんやり運転」であるため、その要因となる携帯電話等使用運転違反に重点を置いた取締りを実施した。</p> <p>さらに、歩行者が被害者となる道路横断中の交通事故が多いことから「信号無視・一時不停止・横断歩行者妨害」等の交差点関連違反取締りを実施した。</p> <p>2 令和元年10月から12月までの業務重点推進結果について 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 地域安全運動に伴う犯罪抑止活動</p> <p>ア 全国地域安全運動の実施</p> <p>イ 各種広報啓発活動の推進</p> <p>(2) 金融機関等と連携した各種犯罪抑止活動</p> <p>ア 連絡会の開催</p> <p>イ 年末警戒の実施</p> <p>(3) 各種犯罪検挙活動の強化</p> <p>(4) 職質検挙の推進と高齢者宅訪問活動の推進</p> <p>ア 職務質問による各種犯罪の検挙推進</p> <p>イ 高齢者宅訪問活動の推進</p> <p>(5) 高齢者の交通事故防止に対する各種対策の推進</p> <p>ア 街頭活動の強化</p> <p>イ 安全教育の実施</p> <p>(6) 年末の交通事故防止対策</p> <p>(7) 大型警備対策の推進</p> <p>3 業務重点推進計画について 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 特殊詐欺を始めとした犯罪抑止対策の推進</p> <p>(2) 少年の非行及び犯罪被害防止活動の推進</p> <p>(3) 各種犯罪検挙活動の強化</p> <p>(4) 地域住民の意見要望に即した活動の強化</p> <p>ア 巡回連絡及び高齢者訪問活動の推進</p> <p>イ 情報発信活動の推進</p> <p>(5) 追突事故、歩行者事故防止に重点を置いた交通事故防止対策の推進</p> <p>ア 追突事故防止対策の推進</p> <p>イ 歩行者の交通事故抑止対策の推進</p>

	<p>ウ 広報啓発活動の推進 (6) 国際テロ対策の推進</p> <p>4 諮問テーマに対する答申について 署長から、協議会に対して諮問があり、協議会から次のとおり答申された。</p> <p>(1) 諮問内容 ア 諮問テーマ 高齢者の交通事故防止対策について イ 答申内容 細野会長から協議会に対し、次のとおり署長への答申内容について確認があり、全会一致で了承された。 (ア) 行政機関と連携をしてサポート活動を推進する。 (イ) 家族を含めた高齢者の交通安全対策を推進する。 (ウ) #8080安全運転相談ダイヤルの広報を推進する。</p> <p>5 諮問テーマの設定について 署長から、協議会に対して次のとおり諮問テーマが設定され、次回協議会において答申されることとなった。</p> <p>(1) 諮問テーマ 高齢者の各種犯罪被害防止や孤独死について (2) 設定理由 高齢者が安全で安心して暮らせる社会づくりを目指して警察においても「高齢社会総合対策」を推進中であるが、高齢者が被害者となる特殊詐欺被害や交通死亡事故については、後を絶たない状況にある。 また、独居高齢者がひっそりと亡くなって発見される孤独死も社会問題となっている。 そこで、協議会の皆様からも高齢者の犯罪被害防止や孤独死について地域住民の意見を聞いて、高齢者の安全対策に役立てるため</p>
提出意見	<p>1 新入学児童の安全対策の推進について これから、幼稚園や小学校と新入学の時期となることから、新入学児童の安全対策を推進してもらいたい。</p> <p>2 特殊詐欺被害防止対策の推進について 高齢者等に対しての不審なハガキやメール・電話などの特殊詐欺の予兆電話等が後を絶たない状況にあることから、特殊詐欺被害防止対策を推進してもらいたい。</p>